

第3回鎌倉ウォーキングの会報告

9月21日は生憎の雨となったが、静かなしっとりした寺社の雰囲気の中、今回は東部地区を歩いた。ガイドはこれまで同様、世話人の実弟、高橋健治。同行の鎌倉稲門会の方たちと鎌倉駅で落ち合った。最初の天台宗の**宝戒寺**までは、普段観光客が歩かない鎌倉の古い路で、鎌倉幕府開設が最初になされた古蹟や大仏次郎邸が紹介された。

列名；萩の寺



宝戒寺は北条氏滅亡後、後醍醐天皇が足利尊氏に命じて菩提を弔うために建立された。

次に向ったのは鎌倉最古の**杉本寺**も天台宗の古刹で、天平6年（734年）に行基菩薩の開山、建立は光明皇后の発意による。本尊の三体の十一面観音で知られる。また隣接する杉本城址にも立ち寄ったが天気であれば鎌倉市内の展望が望める場所。

三浦一族の居城で南北朝まで山城として使われていたが1337年、北畠顕家の大軍が足利勢を攻めた際、足留めして善戦したのち、落城し、その後は廃城となった。

次に向ったのは鎌倉五山の**浄妙寺**。臨済宗建長寺派のお寺である。1188年足利義兼(頼朝の従兄弟)の創建になる。足利氏の菩提寺の中心的存在であり、尊氏の父、足利貞氏の墓もある。

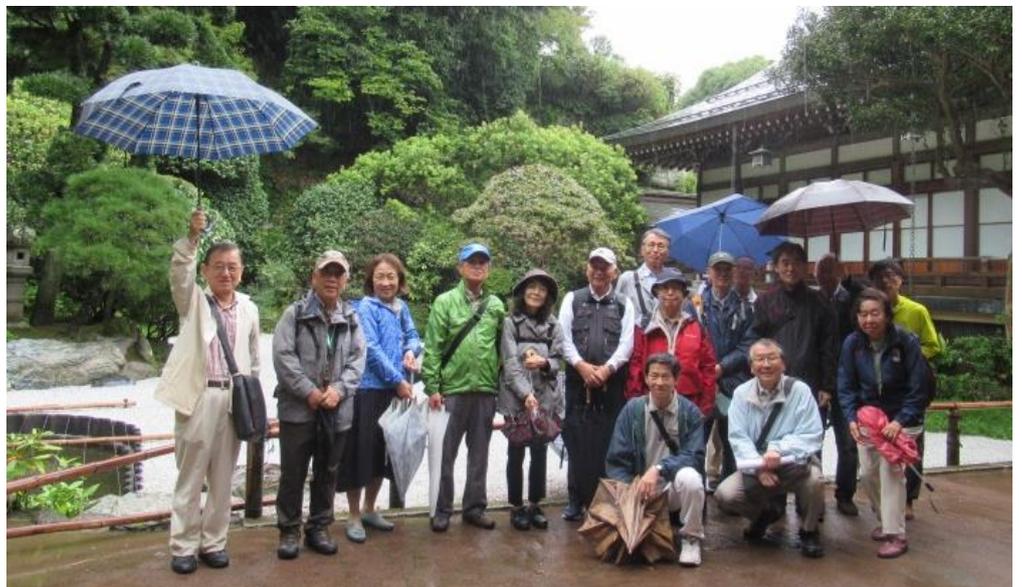


最後に訪れたのは竹の寺として人気を集めている**報国禅寺**。

臨済宗建長寺派のお寺だが、創建は1334年、天岸慧広による。報国寺は足利氏と縁が深く、尊氏の祖父、家時の開基と伝えられるが、鎌倉幕府滅亡後、鎌倉公方として尊氏の次男、基氏が着任してから、四代約90年の栄華の中心地となったが、最後は足利氏終焉の地となった。



小林事務局長は写真のエキスパート。
鎌倉稲門会の写真担当とのこと。



バスで鎌倉駅に戻った後、第二部として、駅前にある日本料理店「鯉之助」にて、鎌倉稲門会との交流懇親会が開かれた。御代川副会長の経営される店として、昼から豪華な懐石膳に舌づつみをうった。稲門会の大先輩として、これまでも女子会立ち上げの相談にのっていただいた経過もあり、旧交を暖める機会となっただけでなく、これからも交流を続けてゆきたい。



参加者：大内、岡田、黒田、清水、滝川（桜）、滝来（京）、當間、戸田、富澤、町田
吉澤（勇）、吉田（勝）、市川彰彦夫人、高橋正（世話人）

鎌倉稲門会

ウォーキング参加：小林事務局長、江副副会長、稲田明子さん

交流会：兵藤会長、小泉副会長、御代川副会長、小林事務局長、坂常任理事
高橋（健）幹事

鎌倉稲門会のホームページにも今回の交流について、アップロードされています。

URLは <http://waseda-kamakura.sblo.jp/article/184562215.html> です。



（文：高橋 正夫 写真：山本 岩男、高橋 正夫）